

令和2年度第1回介護保険運営協議会質問票に対する回答について

1) 諮問事項1 令和元年度和光市介護保険事業の決算について

●資料1の被保険者の状況で4～3月伸び率が2%、要介護認定者の伸び率が10%と思われるが、これだけ認定者の割合が増加しているということか。

→お見込みのとおり、令和元年度は1年間で認定者の伸び率が10%と大きく増加しております。高齢化率も上昇しており、被保険者のうち75歳以上の後期高齢者の割合も年々増加していることから、認定者の数も増加したと考えられます。

(参考)

	被保険者数の 伸び率	認定者の 伸び率	後期高齢者の 割合	高齢化率 (3月末)
R1	2%	10%	46.9%	18.15%
H30	2%	7%	46.1%	18.04%
H29	2%	0%	45.1%	17.96%

●介護サービス利用率・回数に対するコロナの影響はあるのか。

→今回決算資料として提示させていただいた中(1月サービス利用分まで)では、コロナによる影響は特にございませんが、2月～5月の訪問系サービスの利用回数は1月平均85件ほど増加、通所系サービスは44件ほど減少しております。

3) 諮問事項3 第7期和光市介護保険事業計画に基づく長寿あんしんブランドデザインについて

●なぜ、令和2年7月に設立した会社が随意による選定で決まったのか。

→平成31年1月31日付で廃止されたエースケアセンター和光の代わりとなる事業所の公募を、平成31年3月及び令和元年6月の2回実施しましたが、いずれも応募がありませんでした。運営協議会においてご承認をいただき、随意による選定方式に切り替え事業者を募集していたところ、市内事業所において実際に定期巡回・訪問介護看護に従事していた者が本年7月に独立し、新たに市内において定期巡回・訪問介護看護事業所を立ち上げることとなり、参入したいとの希望がありました。事業者の選定にあたり、選考要件等を満たしていることから、事業予定者として、令和2年度第1回運営協議会に諮問させていただいた次第です。なお、他に応募はございませんでした。